

登録コード	SSG06608	開講年度	2026			
授業題目	特別研究（物質循環学ユニット）				担当教員	宮原 裕一
英文授業名	Special Research（Environmental Science Unit）				副担当	
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期	
講義室					備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】			【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学					
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力			自ら研究テーマを設定し, 観察・分析を行い, 得られた成果の意義を説明できるようになる。		
(2)授業の概要	学生は, フィールドワークや実践を重視した研究計画を立て, 独創性に富んだ成果を目指す。また, 各種の学会での情報収集や研究発表を通じて, 知識・研究意欲と能力を高め, 国内的にも国際的にも高く評価される水準の研究を目標とする。					
(3)授業のキーワード	フィールド調査・研究, 情報収集能力, 分析能力, 情報発信能力					
(4)授業計画	フィールドワークや実践を重視した研究計画を自ら立案し, 独創性に富んだ成果を目指す。 修士1年(12月頃)と2年の終盤(7月頃)に, 口頭による中間発表を行う。 修士論文を最終学年の1月末に提出し, 2月には公開で修論発表会を開催する。					
(5)成績評価の方法	指導教員のもとで計画した到達目標に達しているか否か, および研究成果の水準を審査の基準とし, 最終試験では, 論理的思考能力, 表現力, 問題解決能力, および修士課程における学生の成長度を評価の基準とする。目標達成度が90%以上を秀, 80-89%を優, 70-79%を良, 60-69%を可, 60%未満を不可とする。					
(6)成績評価の基準	下記の結果に基づき評価する。 1. 先行研究をレビューし研究計画を立てたか 2. セミナーで得られた成果について指導教員等と議論できたか 3. 得られた成果を学会等で分かりやすく発表できたか 4. 修士論文としてまとめることができたか					
(7)事前事後学習の内容						
(8)履修上の注意	1年次で「環境計測学」を履修済みであること。					
(9)質問,相談への対応	研究室で面談するか, e-mail (miyabar@shinshu-u.ac.jp) で対応する。					
【教科書】	特に指定しない。					
【参考書】	特に指定しない。					